

親子聖書日課

NO.1696 2021.3/28-4/3

名前

[日]「燃えさし」は無用なものに見えます。サタンも「そんなものは火の中に放り込んで灰にしろ」と訴えます。しかし、主は無きに等しい者を選ばれます。燃えさしである私達も、主の火である聖霊を頂く時、信仰が燃やされ、主に用いられます。

[月]主の御業を成し遂げるのは、人間の能力でも権力でもなく、「ただわが霊によって」です。「私はそんな事はできない」という時、自分の能力に頼るからできないのであって、主の霊に頼ると、不思議とできるのです。聖霊の力に頼りましょう。

[火]ゼカリヤの時代、空飛ぶ巻物が登場し、全ての人が神の言葉を見ることができました。今日の空飛ぶ巻物は、インターネットでしょう。世界中に、上尾教会から福音を発信できます。福音はしまっておくものではなく、高々と掲げるものです。

[水]主が神殿を見て「この神殿を壊したら、私は三日で建て直す」と言われたのは、十字架で死に、三日目に復活した主の体のことです。教会は、主の体、私達はその一部分です。信仰を建て直すために、「ひたすら主の声に聞き従う」ことです。

[木]民が70年間、主に喜ばれると思って断食したのは、自己満足のためでした。主に喜ばれるのは、熱心に宗教行事を守ることではなく、「正義と真理」である御言葉に従い、互いに労わり合い、災いを心にたくらまないこと、形式よりも中身です。

[金]人の目には驚くべきことでも、神の目には驚くべきことはありません。神は無から有を呼び出される全能の神だからです。その神を信じて、祈り求めることです。石のように硬い心も、必ず救われると信じて、祈りましょう。主のみ心が成ります。

[土]主イエスのエルサレム入場の預言です。主は王のように馬ではなく、ロバ、それもロバの子に乗りました。それは柔和でへりくだった、平和の王の印です。主は今日もロバの子を求めています。自らを「ちいロバ」として、差し出しましょう。



	聖書	問題	答え
日	ゼカリヤ 3:1-10	ここにあるのは火の中から取り出された何ですか。	
月	4:1-14	武力によらず、権力によらず、ただ何によって、と主は言われましたか。	
火	5:1-11	巻物がどうしているのが見えましたか。	
水	6:1-15	彼は神殿をどうしましたか。	
木	7:1-14	互いに何を心にたくらんではなりませんか。	
金	8:1-23	何をもたらす裁きをすべきですか。	
土	9:1-17	彼は高ぶることなく、何に乗ってきますか。	
感想と祈りの課題			